

1 単元名 明治の国づくりを進めた人々

2 単元の目標

- 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解するとともに、社会的事象に関する情報を様々な資料から効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。
(知識及び技能)
- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現する力を養う。
(思考力、判断力、表現力等)
- 黒船の来航や明治維新、様々な近代化政策について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりすることを通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情を養う。
(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 黒船の来航や明治維新、様々な近代化政策などを手掛かりに、明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。 ② 年表などの資料で調べ、まとめている。	① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。	① 黒船の来航や明治維新、様々な近代化政策について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

4 単元の指導について

(1) 教材について

本単元は、黒船の来航や廃藩置県、四民平等などの改革、文明開化などの事象を通して、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めていったことを理解することをねらいとしている。

(2) 児童の実態について

国や地方公共団体の取組に関する学習における児童の実態調査の結果からは、法律の制定や自衛隊の派遣要請などの記述が多く見られ、東日本大震災の復旧・復興に関する事象に関する知識は、身に付いているといえる。しかし、それぞれの事象について、「誰によって行われているのか」という多角的な視点から捉えることや、他の事象を比較、関連付けて総合的に考察することについては課題が見られた。児童は、話合いに意欲的に取り組み、他者の意見と比較したり関連付けたりしながら理解を深めていたが、社会的事象について多角的に考えるためには、立場や主体を明確にして記述したり、話し合ったりする学習形態の工夫が必要だと考える。

5 単元の指導計画（9時間扱い）

○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価規準	
1	1 2	<p>1 なぜ複数のペリーの肖像画が存在しているのか考える。</p> <p>2 学習問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">幕府の開国という決断は、結局成功だったのだろうか？</div> <p>3 開国について、成功と失敗どちらかの立場を決め、その理由や根拠となる出来事を考える。</p> <p>4 グループで協議して、異なった立場の意見を通して、自分の考えを再構成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">私は、開国は成功だったと思います。なぜなら、当時の日本は欧米諸国に絶対に勝てなかったからです。開国すると、欧米諸国に支配されてしまうかもしれないけれど、戦って大きな被害を受けるよりはいいと思ったからです。</div> <p>5 実際に開国がどのような影響を及ぼしたかを調べ、まとめる。</p>				○根拠を見付けることに到達していない児童には、黒船の脅威をと示す資料や物価が高騰したことを示す資料などを提示することができるようにする。【ワークシート】	
	3	<p>1 単元を貫く学習問題から、各次の学習問題を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日本の危機！欧米諸国に負けないために、日本がしなければならないことは？</div> <p>2 国づくりのために、産業、政治、文化、軍事、人々の生活の5つの分野を順位付けし、その結果をグループで協議する。</p> <p>3 協議した結果を基に、単元を貫く学習問題を解決するための、各次の学習問題を設定する</p>			○◎	○日本の危機を実感できず、予想が立てられない児童には、当時の中国の情勢を紹介し、国際的に日本が置かれた状況を踏まえて学習問題について予想できるようにする。【ワークシート】 ◎日本の危機を乗り越えるために、明治政府が行った政策を予想し、学習問題を立て問題解決への見通しを立てようとしている。【ワークシート】	
2	4 5	<p>1 大久保利通らが欧米諸国を視察して、どのようなことを実感したか予想する。</p> <p>2 学習問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">欧米諸国に負けない国づくりのために、明治政府は、産業をどのように改良させたのだろうか。</div> <p>3 廃藩置県や殖産興業、徴兵令、地租改正の4つの政策からグループで1つを選び、教科書や資料集による資料を基に、その政策について調べる。また、それぞれの政策を数値で評価する。 (エキスパートグループ活動)</p> <p>4 異なった政策を調べた児童でグループを編制し、自分が選んだ政策についての説明や、政策の評価の発表を行う。 (プレゼングループ活動)</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">明治政府は、欧米諸国に負けない国づくりのために、殖産興業によって生糸などの生産量を上げ、輸出を増やした。</div>				○◎	○政策を評価することに到達していない児童には、その政策によって実現したことや不便になったことを助言することで、根拠に基づいて評価することができるようにする。【ワークシート】 ○政策の評価が進まないグループには、各政策の目的に注目するように助言し、明治政府のねらいを理解できるようにする。 【発表・ワークシート】 ◎明治政府が行った政策によって、近代国家としての新たな仕組みが整ったことを理解している。【ワークシート】

3	6	<p>1 学習問題をつかむ。</p> <p>明治の人々が衝撃を受けた、生活の変化ベスト3を考えよう。</p> <p>2 文明開化による新しい生活様式について調べ、明治時代の人々が大きな変化を実感したもののベスト3を選ぶ。</p> <p>3 個人で決めた順位についてグループで話し合い、グループのベスト3を決める。</p> <p>4 学級全体で共有する。</p> <p>5 「今昔メーター」で、現在の生活との比較を行う。</p> <p>現代の生活と文明開化のころの生活を比べてみて、同じところは身分がなく鉄道が開通しているところで、違うところは服装や機械が普及していないことだと思った。</p>	○ ◎		<p>○文明開化による変化や便利さを考えることに到達していない児童には、江戸時代の様子を助言することで、変化に気付くことができるようにする。 【ワークシート】</p> <p>◎明治時代と現代の生活と比較しながら、文明開化によって欧米の文化が広まったことについて理解している。 【ワークシート】</p>
4	7 8	<p>1 西南戦争をはじめ、明治政府に対する反対運動や反乱が全国各地で起きていたことを知る。</p> <p>2 学習問題をつかむ。</p> <p>多くの国民が納得するために、明治政府はどのような政治を目指していったのだろうか。</p> <p>3 自由民権運動について調べる。</p> <p>4 寸劇を通して、自由民権運動において国民と政府がどのように対立を深めていったのかを考える。</p> <p>5 内閣制度、大日本帝国憲法、帝国議会の成立について知る。</p> <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>多くの国民が納得するために、明治政府は国民の意見を取り入れる政治を目指していった。</p>	○ ◎		<p>○自分がその人物をどのように演じればいいのか分からない児童には、その人物の立場の業績を思い起こさせるような助言を行うことで、効果的な役割演技ができるようにする。【観察、台本】</p> <p>◎板垣退助や大隈重信、伊藤博文が、自由民権運動において大きな役割を果たしていることを理解している。 【ノート】</p>
5	9 本時	<p>目標：明治政府の近代化政策に対する、国民感情の変化を考える学習活動を通して、社会的事象を多角的な視点から考える力を養う。</p> <p>1 学習問題をつかむ。</p> <p>ペリー来航から倒幕、明治政府による近代化政策を、国民はどのように受け止めていたのだろうか。</p> <p>2 明治政府による近代化政策における、国民の心情を「エモグラフ」に表す。</p> <p>3 グループでエモグラフを重ねて、最も大きく異なっている点について議論する。</p> <p>4 全体で共有する。</p> <p>5 単元の振り返りをする。</p> <p>私は、明治政府による近代化政策は、国民に大きく受け入れられていたと思う。特に、文明開化により西洋の文化が普及したことで生活が便利になったことを、当時の国民はかなり喜んだのではないかと思う。</p>	○ ◎ ◎		<p>○国民の心情をグラフに表すことができない児童には、それぞれの政策によって便利になったことやできるようになったことを想起させることで、グラフに表すことができるようにする。 【ワークシート】</p> <p>◎明治政府による近代化政策に対する国民の感情を、国民の立場から多角的に考えている。 【ワークシート】</p> <p>◎単元を通じた学びを振り返りながら、近代の生活の変化を現代の生活と結び付け、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 【ワークシート】</p>